

1. 科目名 (単位数)	文章表現 (2単位)	3. 科目番号	GELA1107
2. 授業担当教員	攪上 哲夫		
4. 授業形態	講義、グループワーク、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>大学での講義及び演習 (ゼミ) では、レポートを書いたり発表したりという表現力が要求される。この授業では、大学での学習や研究に必要な「書く」技術の基礎訓練を行うことをねらいとしている。</p> <p>したがって、目標とされるのは、文学的表現や美文調の修辞等ではなく、むしろ簡潔で明快な文章の表現法である。文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ、表現の的確さ、わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習する。</p> <p>本科目の授業を通じて表現力やコミュニケーション能力を養うことは、大学段階にとどまらず、今後の社会でますます重要となってくるものであることを認識する必要がある。</p>		
8. 学習目標	<p>以下について学習・理解し、レポート・論文が書けるようになることを学習目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文章表現の基礎、レポート・論文の書き方の基礎的・基本的事項について理解する。 2 わかりやすい言葉 (表現方法) で、明瞭で論理的な文章を書く技術を習得する。 3 実践的な訓練を通して、自分の考えや意見を論理的に述べる文章表現力を身に付ける。 4 定評のあるオピニオン誌の論文や新聞の社説などに触れ、現実の捉え方やものの見方を学ぶ。 5 文章の読解力と文章の構成力を養い、文章表現に対する苦手意識を払拭する。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> ①授業進度に沿った小レポートを課します。 ②中間・期末レポート：授業進度に応じて、設題①、設題②を課します。レポート課題の内容は授業時に説明します。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 石黒圭著『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社、2012。</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『レポート・試験はこう書く 教職科目要説[中等教育編][改訂版]：特別支援学校教諭・養護教諭・高等学校教諭[福祉・公民]をめざす人のための 専門科目・関連科目学習参考例』ミネルヴァ書房、2015。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 積極的参加 (発言、討議、取り組み等) 総合点の30% 2 レポート (小課題を含む) 総合点の70% <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>大学のレポートは、試験の代わりに要求されることもあり、大学生にとってはその技法を知ることが重要なことです。「レポート」をどのように書くのか、大学のレポートの基本を身に付けるように指導をします。進んでレポート作成に取り組み、少しずつ上達していきましょう。なお、新型コロナウイルスの流行により zoom での授業に対応した場合は、授業の5分前までに端末の前に座って準備してください。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業時に連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 教科書『論文・レポートの基本』「はじめに 論文・レポートとは何か。Pp.2~7 小論文とレポート・論文の相違について理解する。	事前学習	高校までのレポートを読み返す。
		事後学習	小論文とレポート・論文の相違を理解し、文章表現小課題を行う。
第2回	「第1章 論文の構成の考え方」pp.14~19 基本は序論・本論・結論を理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp.14~19を読み、問いを立てることの意味についての予備知識を持つ。
		事後学習	教科書第2部 第10章「正確な言葉選び」pp.79~87「課題と練習」を行う。
第3回	教科書『論文・レポートの基本』 「第2章 問う一目的」pp.20~29 問いを立てる、問いを1文で示す、問いを絞り込む、問いの言葉を定義する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp.20~29を読み、論文の問いの意味についての予備知識を持つ。
		事後学習	第10章「正確な言葉選び 第3課怖い変化ミス pp.88~91」を読み、ノートにまとめる。
第4回	教科書『論文・レポートの基本』 「第3章 調べる一先行研究」pp.30~41 先行研究とは何か、剽窃と引用の違いについて理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp.30~41を読み、先行研究の意味についての予備知識を持つ。
		事後学習	第11章「正確な表記」pp.92~105 第4課 漢字と仮名の書き分け、第5課 読点の打ち方、第6課 記号の使い方を学び、ノートにまとめる。
第5回	教科書『論文・レポートの基本』pp.42~49 「第4章 選ぶ一資料と方法」質的調査と量的調査の違いについて理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp.42~49を読み、質的調査と量的調査についての予備知識を持つ。
		事後学習	第11章「論文専用の表現」pp.108~112 第7課 論文を構成する動詞を読み、ノートに要旨をまとめる。

第6回	教科書『論文・レポートの基本』pp. 50～56 「第5章 確かめるー結果と分析」結果を整理して論文にまとめることについて理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp. 50～56を読み、結果と分析についての予備知識を持つ。
		事後学習	教科書 第11章「論文専用の表現」pp. 113-118 第8課 論文の文末表現を読み、ノートに要旨をまとめる。
第7回	教科書『論文・レポートの基本』pp. 57～60 「第6章 裏付けるー考察」論文における考察について理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp. 57～60を読み、論文における考察についての予備知識を持つ。
		事後学習	教科書 第12章「論文専用の表現」pp. 119～123 第9課「論文のオトナ語」を読み、ノートに要旨をまとめる。
第8回	教科書『論文・レポートの基本』pp. 61～63 「第7章 まとめるー結論」論文の一連の過程を理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp. 61～63を読み、論文の結論についての予備知識を持つ。
		事後学習	教科書 第13章「論文の文体 第10課 話し言葉と書き言葉」pp. 124～131を読み、ノートに要旨をまとめる。
第9回	教科書『論文・レポートの基本』pp. 64～68 「第8章 校正するー提出前の原稿チェック」提出前の原稿をチェックすることの必要性を理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp. 64～68を読み、校正するー提出前の原稿チェックについての予備知識を持つ。
		事後学習	教科書 第13章「論文の文体 第11課 論文になじまない言葉、第12課 論文の軸となる名詞 pp. 132～141」を読み、ノートに要旨をまとめる。
第10回	レポートを書く① 主題を選ぶ 材料を集める 参考文献を探す 事実と意見を区別する 構成を考えアウトラインを書く。	事前学習	レポート作成に必要な資料を収集する。
		事後学習	教科書第2部論文の表現 第14章「明晰な文 第13課 複数の意味を持つ文 pp. 142～151」を読み、ノートに要旨をまとめる。
第11回	レポートを書く② 草稿を書く 見出しを付ける 箇条書きを活用する 引用の仕方 引用・参考文献の表示法 清書 提出までを理解する。	事前学習	下書きレポートをまとめる。
		事後学習	教科書第2部論文の表現 第14章「明晰な文 第14課 読者を迷子にする文 第15課 あいまいさを含む文 pp. 152～164」を読み、ノートに要旨をまとめる。
第12回	説明文を書く 与えられたテーマ、その資料を下に説明文を書く。	事前学習	配布資料を読み、説明文の素材を集める。
		事後学習	教科書 第15章 明晰な文章展開 第16課「指示詞の使い方 pp. 167～173」を読み、ノートに要旨をまとめる。
第13回	エッセイを書く 主題を見つけエッセイを書く。	事前学習	配布資料を読み、エッセイの素材を集める。
		事後学習	教科書 第15章 明晰な文章展開 第17課「接続詞の使い方 pp. 174～181」を読み、ノートに要旨をまとめる。
第14回	報道文を書く ニュース記事を書く。	事前学習	配布資料を読み、報道文の基本を押さえる。
		事後学習	教科書 第15章 明晰な文章展開 第17課「接続詞の使い方 pp. 174～181」を読み、ノートに要旨をまとめる。
第15回	文章表現のまとめ	事前学習	これまでの学習の重点事項を復習する。
		事後学習	これまでの学習を生かし、大学のレポートの書き方を今後の学習に活かす。